

取組の成果・課題			
記号	イ	事業分類	保育の充実
泥んこ山で、歓声をあげながら全身で遊び、心の解放を図ることができた。リズム遊びは、学年に応じた動きで、リズム感、筋肉、体幹、体力などが鍛えられ、日常生活の運動機能も育った。観劇では、目の前で観ることで、楽しさや感動体験を味わうことができた。以前と変わらず、感染症予防対策を講じて行う必要があった。			
記号	ウ	事業分類	健康・安全教育の推進
ジュビロ運動遊び教室で、体の動かし方や集団遊びを教わった。コーチの話をよく聞いて、理解したり、判断したりする力が身についた。興味のもたせ方、伝え方など職員の勉強にもなった。少人数での参加が課題だが、育てたい姿を明確にし、少人数でもできることを行っていた。			
記号	エ	事業分類	体験活動の充実
園外保育を通して、地域の施設に親しみ、様々な自然に触れ、関心をもつことができた。バスの乗り方、道路の歩き方、公共の場の使い方を経験する機会となった。園外での保育は、全職員が共通理解し、安全対策を万全にする必要がある。			
記号	カ	事業分類	環境教育の推進
季節の花を育てたり、畑で野菜を育てたりして、生長や収穫の喜びを感じ、自然と十分に関わることもできた。花に来る昆虫に親しんだり、色水をしたり、サツマイモのツルでリースを作ったり、保育の充実にもつながった。感染症予防のため、園内での調理は控え、家庭で活用してもらい食育につなげていった。			